

防災力向上

▼多久町の9地区から約330の方が避難所へ。
写真は水を分けている様子



▶救出訓練。屋上に残り
された人をへりて救出



◀炊き出し訓練では、自衛隊が無洗米を炊き、おにぎりは婦人会など、ボランティア約50人が作りました

▶中部小の全児童も参加。避難訓練の後は防災サイ
ンと初期消火訓練を行
いました。写真は飲み物が
欲しいと防災サインで伝
える児童



佐賀県総合防災訓練 地域の防災力向上と 関係機関の連携を

佐賀県地域防災計画の見直し後初めての、佐賀県総合防災訓練が5月27日に行われました。

今回は地域の防災力を高めるため、佐賀、多久、小城の3市に分散して実施。多久会場は、大規模地震を想定した訓練でした。西溪中、中部小をメイン会場とし、周辺住民や自衛隊、消防署、消防団、



▲大規模林野火災訓練。消防署と消防団が陸から消火活動を、自衛隊はへりて空中消火活動を行いました

市立病院、しみず園などから約690人が参加。避難訓練やガレキ撤去訓練、救出訓練、災害拠点病院の受け入れ訓練、要援護者避難訓練などを行いました。関係機関のお互いの連携と、住民の防災意識の高揚を一層深めることができました。

市長コラム

温故創新

Message for citizen

地域にも国政にも防災減災

市長 横尾俊彦

美しい麦秋から梅雨、そして7月は暑さ本番。5月末の総合防災訓練では改めて防災・減災と対策充実の重要性を考察しました。それらも考慮し6月の防災会議で新たな地域防災計画を策定しました。風水害・地震・原子力災害等の対策充実を図りますし、災害弱者対策なども向上させます。

会議では佐賀地方気象台の話も伺いました。この4年間九州に台風上陸がないとのこと。過去のデータからは4年間台風上陸なしの翌年は3〜4個上陸の記録とか。ならばまさに要注意です。でも「5年連続記録に挑んでほしい」とも。そうありたいですが、こればかりは天のみぞ知る…。

台風4号が九州接近コースを北上。市内は影響なかったものの和歌山南部に上陸し、北東へ時速65キロで日本列島を通過。大震災被災地へも進み心配されました。24日には梅雨前線活発化で大雨。まさに台風大雨との格闘季節の始まり。

国政も台風なみの様相。民主、自民、公明の3党が消費税増税に合意。時期と税率は固まったものの肝心の社会保障充実策の詰めはこれから。この向上がなければ意味がありません。そのために衆知を集めることこそが本来の議員使命のはず。

社会保障・税の一体改革には世界も注目して、改革の意志と実行力が日本にあるか見つめています。実施までに国民に寄り添う配慮をし、経済的にも明るい未来を示すことが不可欠です。若者も長寿者も将来に希望もてる社会、つくりに向け、政治こそ未来への防災減災をしなければ…。